

会 議 録

会議の名称	平成29年度第1回清須市健康づくり推進協議会
開催日時	平成29年7月19日（水） 午後2時00分～午後3時35分
開催場所	清須市水の交流ステーション 1階 研修室
議題	1. あいさつ 2. 協議事項 （1）保健事業について （2）がん検診について （3）子育て世代包括支援センター（母子保健型）について
会議資料	会議次第 資料1 平成28年度第2回清須市健康づくり推進協議会ご意見とその対応について 資料2 保健事業 2-1 母子保健事業 2-2 成人保健事業 資料3 がん検診について 資料4 清須市子育て世代包括支援センター(案)について 資料5-1 始めました！子育てコンシェルジュ 資料5-2 清須市『子育てコンシェルジュ』のご案内 参考資料 きよす健康マイレージ 健康づくりをみんなで考える会(市民ワークショップ)
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	0人
出席委員	加藤委員、鬼頭委員、宮田委員、富田委員、田中委員、柴山委員、佐橋委員、浅井委員、伊藤委員、波多野委員、中村委員、山内委員、伊澤委員、鈴木委員
欠席委員	1人
事務局	福田部長 〔健康推進課〕 田中、武居、古川、高木、坂下、舟橋、上田 〔子育て支援課〕 佐古
会議の経過 《要旨》	1. あいさつ 部長 鬼頭会長 2. 議題：事務局より資料及び参考資料に基づき説明。 （1）平成28年度第2回清須市健康づくり推進協議会ご意見とその対応について （2）保健事業について （3）がん検診について （4）子育て世代包括支援センター（母子保健型）について

3. 協議

鈴木委員：母子保健事業の6歳臼歯保護育成事業の今年度の事業予定はいかがですか。

事務局：今までは年中・年長児と保護者を対象に歯科衛生士・保健師が健康教育を全園で実施しましたが、29年度からは保育士向けに、むし歯予防・歯みがき指導について研修会を行い、日々子どもに関わっている保育士による歯みがき指導が細やかに実践できるよう検討しています。

加藤委員：喫煙している保護者などへ健康教育は実施していますか。

事務局：母子健康手帳の交付時に喫煙状況を確認し、タバコの害について情報提供しています。妊娠を機に禁煙される方もいます。その後4か月児、1歳6か月児、3歳児健診と健診時には、問診票で確認を行い指導していますが、子どもが成長するにつれ再び喫煙率が上がっています。

田中委員：電子タバコは、煙が出ませんが害はありますか。

加藤委員：電子タバコも禁煙にはなりません。データはないですが、健康への害がゼロではないです。

佐橋委員：がん検診の対象年齢は、国の指針に併せたとのことですが、前立腺がん検診は血液検査でできる簡易な検査なので、もっと若い人にも検査できるようにしたほうがいいのではないのでしょうか。

加藤委員：血液検査といっても、費用はかかります。どの年代に検診が必要か、あきらかに罹患が増える年齢で実施が必要です。コストパフォーマンスが課題となります。

富田委員：がん検診受診率は、会社で検診をすでに受けている人もいるので、その統計が取れると良いと思います。

事務局：がん検診受診率は国勢調査から推計して算出しています。健康計画策定の際には、無作為でアンケート調査をしており、市民の受診状況を把握しています。平成30年度は、中間評価を実施する予定です。受診の実態が把握できると考えています。

鬼頭会長：子育て世代包括支援センターについて母子保健推進員代表の波多野委員、ご意見をお願いします。

波多野委員：母子保健推進員として母子に接する機会も多くあります。保護者の方やお子さんが安心して過ごせるよう支援しています。言葉かけが大切と感じています。

鈴木委員：清須保健所管内で子育て世代包括支援センターについて連携会議を予定しています。

佐橋委員：少子高齢社会は、産業の衰退が考えられます。若年層に力をいれることと、65歳以上の高齢者が元気に働くことが必要です。今後どの世代の方がどれくらいになるのかわかり易く知らせることが必要です。

中村委員：会社は、若い世代が増えており、積極的に子育てに関わりたいという、若い父親の姿がみられます。また孫の世話をしたいという祖父母も増えていると感じます。

加藤委員：幼稚園等の状況を教えてください。また子育てに関する情報はどのように周知していますか。

事務局：幼稚園は1園となりましたが、保育園が12園から13園へと増えています。また小規模保育所、認定保育園が市内にあります。情報の周知については各園、広報、ホームページ、子育てアプリ「キヨスマ」等です。

伊藤委員：やるまいか教室をアルコで実施されており、どなたでもその日に参加できるためよい取り組みと考えます。しかし西枇杷島や春日からだと遠くて通えない方も多いので、もう1カ所通いやすい地域を配慮して実施していただきたいです。

事務局：高齢福祉課が実施しています。他に「いこまいか教室」があり、希望があれば地域に出向き、講師を派遣する教室も開催していますので、お問い合わせいただくとよいと思います。

宮田委員：タバコの害の認識が低いと思います。COPDのポスターの掲示により、COPDについて反響をいただいております。COPDは不治の病であるという認識が低いので、市民にわかり易く啓発できたらよいと考えます。

鬼頭会長：10代や若い世代、女性の方の喫煙については、田中委員、どうですか。

田中委員：興味から高校生で喫煙することもあるので、タバコの害についての教育は必要だと考えます。子育てアプリ「キヨスマ」については、予防接種等必要な情報があり助かると思います。

鬼頭会長：高校生になると、すぐ社会人になるので入り口のところで早く喫煙を止められるとよいと思います。

加藤委員：タバコの害について啓蒙することで喫煙率は全体に下がっていますが、20歳代の女性はあまり減っていない状況があり、サポートが必要です。

柴山議員：喫煙者が禁煙すると害はなくなるのでしょうか。

加藤委員：タバコを吸うと肺胞が壊れます。禁煙しても、一度壊れた肺胞は元に戻りません。喫煙を続けると肺活量が減っていきませんが、禁煙すると、肺活量の減り具合をくい止めることができます。

柴山委員：医療にかからなくても良いように、女性の会では今年、運動習慣の実践に取り組んでいます。やろまいか教室は今後も続きますか。

事務局：続ける予定です。

鬼頭会長：食育の面から浅井委員、どうでしょうか。

浅井委員：離乳食教室を手伝っています。核家族になって、相談相手がみえず、相談にこられますので、相談にのっていきたいです。生きていくためには食が大切と考えます。

鬼頭会長：父親の立場から、山内委員、ご意見をお願いします。

山内委員：子どもが好きなので、家では子どもとできる限り接するようにしています。働いている祖父母も多く、子どもをみてくれる人がいないので、サポートしてくれる人がいると若い人は働きやすくなるのではないのでしょうか。子育ては好きです。子育てを手伝ってほしいときに気兼ねなくサポートしてくれる人がいると助かります。また、禁煙してから運動後の回復力が早くなったと感じます。子どもたちのために病気にならないよう決意したことで禁煙し継続できています。

伊澤委員：3人乗り自転車のレンタルを希望します。また保育園の費用負担が産後3か月目から負担増となるため、検討をお願いします。第2子までは里帰りすることが多いですが、第3子は上の子が保育園や小学校に通っており、里帰りすることが難しく、サポートを受けにくい状況があります。

事務局：産後の里帰りは減っていますので、産前・産後ヘルパー、ファミリー・サポート・センターの利用をご案内しています。保育園の利用は、保育の必要な方に支援する制度となっていることをご理解いただけたらと思います。また保育園の費用は所得に応じて徴収しており、3人目の保育料の無料化を実施しています。

鬼頭会長：鈴木委員、助言をお願いいたします。

鈴木委員：清須市はがん検診と特定健診を同時実施し、がん検診の受診率向上をすすめてほしいです。高齢化社会の到来は避けられないため元気な高齢者を目指すことが必要です。働く世代が減り、子どもは増えないので、高齢者が高齢者を見る時代です。地域包括ケアもすすめております。

佐橋委員：赤ちゃんのアレルギーは治りますか。

加藤委員：乳児の3人に1人にアレルギー症状があります。生活環境や食事に影響を受けます。重症な方は別として、食物アレルギーは克服される人も多くいます。大人になるにつれ、ハウスダストや花粉症などでアレルギーが発症する場合があります。

鬼頭会長：それでは、このあたりで協議を打ち切らせていただきます。

会議の経過を記載して、その内容に相違ないことを証するためにここに署名します。

署名委員

波 多 野 眞 純 ⑩

浅 井 奈 尾 子 ⑩

会議の結果	会議の経過に示したとおり
問合せ先	健康福祉部 健康推進課 052-400-2911 内線2111・2112